

森川先生の御退官

奈良女高師幼稚園 會澤 夕ガエ

奈良女高師附屬幼稚園主事森川正雄先生はこの度御退官になりました。先生は我が國幼稚園界の元老として、長い間、御著書に、御論說に、又御講演に私共保育に携はるものをお導き下さいましたことは誰一人知らぬ者がない筈でございます。本誌にも屢々御執筆下さいまして保育の向かふところを御示し下さいました。先生に長い間御親みあそばしていらした會澤先生に、森川先生の御身邊のことを御執筆いたゞきました。先生はこの後は悠々自適の御生活には入られること、承つて居りますが、斯界の爲に私共を相變らず御導き下さいますやうに御願申し上げます。終りに森川先生の御健康をお祈り申上げる次第でございます。

(編輯部)

我園の森川主事が本學期をもつて御退官になりました。先生には早くより其の御心組もあらせられました様で御座いました。如何様の事が御座いまして、こゝ二三年

は、決して決してかゝる事は無いもの之信じきつて居りました私は、新聞にて初めて知りまして實に驚いた事で御座いまして何ぞ申上げてよろしう御座いませう。たゞたゞ暗夜に燈火を失つた様な心持でいつばいで御座います。五年十年私の如く年を重ねて居ります者は、二十五年間先生の御傍で公私共に、色々御教示御指導に預りました。二十五年間、日々大多忙に打過して居ります私共は、決して長い感じは致しませんが、しかし一年一年數へて見ますと決して短かい年月では御座いけません。其の間先生には、蔭になり日向になつて我が子善かれと御庇ひ下さいました。何ぞ御禮を申し上げてよろしう御座いませう。この拙筆拙文では、却て先生の御高德を傷ける事になるかも知れませんが、御名残りを惜しみまして、こゝに一筆認めさせて頂きます。

一、先生の御人格。濃厚篤實、其のもので入らせられま

した。大人、子供、傭人に至ります迄先生を御したひ申し上げ我園の慈父として御仕へいたして居りました。たゞに在園いたしてゐる者計りでは御座いません。四千になん／＼と致して居ります終了園児、五百を算します保母科の人々、卒業後も常に先生を、御慕ひ申上げ時につけ折にふれて先生を御尋ね申上げ、御教へをお受けした事でした。

二、寡言實行。の先生として常に私共は、御教へを受けて居りました。

三、敵を造らない。先生は常に敵を造る事を戒めて下さいました。不徳の私共は、ごもいたしますご、不要の事やなし、人の喜ばざる言を發し等致します事が多いので御座いますが、人格の上から又特に女子として敵を造るの不可なる事を實行をもつて御示下さいました。

四、讀書の先生。隨分に事務の多い當園では御座いますが、先生には時間を巧みに御利用になりました。二十五年間實によく讀書を遊ばしました。英書に、獨書に、私共はいつもお羨ましく存じて居りました。

五、先生の躰け方。先生は多くを申されません不言の中に、子供を心から先生の御心のまに／＼お躰けになります。田舎の亂暴者はしかたのない者で御座いまして、さうして

も私共の手に合はぬ子供が時たま御座います。かゝる時には、いつも先生の御側に連行致しますが先生は、御やさしき中に一點の嚴肅味を持つて居られます爲、半時間一時間ご先生の御側に居ります間に、子供は自らやさしい、自由な子供らしい氣持になりましたして歸つて参ります。隨分以前の事で御座いましたが、實に亂暴な男兒が御座いまして、お若い先生方をものごもせず、隨分園内の美しい長閑な氣分を亂しますので一度何ぞかしたいものだご存じて居ります際、小さい子供をひどく痛めましたので、自分は無言で其の男兒を主事室に連行しやうと致しましたが、力強き男兒は、鬼婆の一言を残して逃げ去りました。私にて憎くて其の男兒を虐げるものではありません。將來國家有爲の人材としたさの行爲で御座いますので、追つて漸くにして其の男兒を我手に入れ主事先生のお側に連れしました。先生は其の男兒を擬視なさいまして「お座り」に實に威嚴のある聲で申されました。あご三十分間不言のまゝ其の子供ご席を同じうせられましたが、後其言行の子供ごしてあるまじき事を、實にやさしく且強く、子供の腦裡に一言一言刻まれる様に、お話になりましたが、稍々暫くして、子供は自ら其の非を悟り、先生にも謝し、私にも「先生カンニンシテ下サ

「の一語を残して我組に歸り行きましたが、其の事がありまして以來、前こは打つて變つての善良なる男兒となり亂暴性が代つて勇敢義侠心となり實に快男兒となつて出て参りました。其の子供が徴兵適齡になりました時皆人が羨望する近衛兵となり、立派な軍服姿を見ました時は、實に感慨無量で御座いました。これは唯の一例に過ぎませんが、先生の御躰け方は、私共の學ばせて頂きます點が多々で御座いました。

六、先生の大量。先生は又大量で入りせられました。不束な私共で御座いますが、傭人に至る迄二十五年間一度もお叱りを受けませんでした、其の人として不足を御覽遊ばしました時は、人知れず靜かに御注意下さいました。長年の間には、随分お腹の立つ事も御座いましたでせう、しかし腹立たしき御容姿を遊ばしたり、大衆の前でお叱りになつた事は一回も拜しませんでした。私共は此點に於きましても大に學ばせて頂きました。

七、陰徳の先生。先生は實に人知れず恩徳を施されました。尙常に書に親まれますので學問も深く識見も高くすべにて明るく、蘊蓄されてゐるので御座いますが進んで外に現はさうまはなさいません。お尋ねしますと、さういふ迄

も御教へ頂くので御座いますが進んで多くを發表なさいません。實に學者肌の先生で入らせられました、一方又温情におあつく入らせられました事は、卒業生等が良成績を擧げました事を御見聞になりますと、誠に愉快にうれしく思召、不結果の報を耳になさいます時は實に斷腸の思ひを遊ばします。其の弟子を念させられます情掬すべきものがあるので御座います。

八、高潔無垢。ミ中上げませうか、純潔ミ中上げませうか、全く私利私慾ばなれ遊ばした先生で入らせられました。兎角淺薄卑俗に流れ易いのを、範を示して清き心持で御導き下さいました。

かくペンをこりまして二十有五年間受けし御恩を思ひます時、次から次へミひつきりもなく先生の御徳のみが走馬燈の如く目前を去來するので御座いますが、淺學申し上げます言葉を存じませぬ私、胸いつぱいになつてゐる認められませぬ心苦しき、一筆認めまして却つて先生の御高德を損する憂なきを保せずで御座います。